

留 学 報 告 書

記入日:2016年1月25日



所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部会計学科
留学先国	ロシア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: プレハーノフ経済大学 現地言語: Российский экономический университет имени Г.В. Плеханова
留学期間	2015年8月～2016年1月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	インターナショナルビジネススクール学部
帰国年月日	2016年1月9日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月～1月 2学期:2月～7月
学生数	14,000人
創立年	1907年

留学費用項目	現地通貨(ルーブル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	12,500	25,000円	一カ月あたり5,000円ほどです
食費	100,000	200,000円	外食が高いので自炊すれば節約できます
図書費		円	
学用品費		円	図書館で借りることができました。
教養娯楽費	100,000	200,000円	観光費
被服費		円	
医療費		円	
保険費		40,000円	形態:日本で申し込んだ保険だけでした
渡航旅費		190,000円	
雑費		円	
合計	222,500	655,000円	

渡航関連

渡航経路: 往路: 成田→モスクワ / 復路: モスクワ→成田

渡航費用	チケットの種類	片道ずつ購入
	往路	150,000 円
	復路	40,000 円
	合計	190,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

旅行会社は利用せずに、航空会社から直接予約した。ガイドブックは地球の歩き方を使用した。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3) 住居を探した方法:

大学の斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学の寮では一人部屋がなく、部屋を変えることも難しかったため、非常に不便でした。可能であれば二人部屋をお勧めします。同居人によっては、学習の環境や生活に大きな支障をきたすことがあります。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

相談窓口はありましたが、機能していませんでした。問題があった時は学生に相談していました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省ホームページに基本的な情報が載っているので、確認しておくといと思います。スキンヘッドと呼ばれる集団に一度だけ接触されたことがありました。暴力などは振るわれなかったので、運が良かったと思います。最近は減少傾向にあるようですが、観光地にもいるので、彼らの存在を頭に入れておくことをお勧めします。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では Wi-Fi があるので特に困ることはなかったものの、不自由なくインターネットが使えるわけではありません。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のシティバンクで口座を開設し、大学の近くのシティバンクの ATM から引き出していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

SIM フリーの携帯電話をあらかじめ用意しておくと思います。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:留年するため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付して下さい。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Doing Business in Russia	
科目設置学部・研究科	IBS
履修期間	9月～12月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に180分が2回
担当教授	毎回ゲストで講師が授業を行うため不明
授業内容	ロシアでのビジネスをするために知っておくべきことを色々な分野の教授が説明する。
試験・課題など	最終課題として最後の授業にプレゼンテーションがある。
感想を自由記入	ロシアについて様々な角度から学ぶことができる。授業では発言をすれば教授たちが答えてくれるので、発言すれば様々な見方や考え方を得ることができると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Auditing	会計監査
科目設置学部・研究科	IBS
履修期間	9月～12月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Victoria maritskaya
授業内容	会計監査を基本的なところから学んでいく。
試験・課題など	中間試験、グループワーク、最終試験がある。
感想を自由記入	教授が丁寧に質問に応じてくれるため、わからない所などをすぐに聞くことができる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Russian language	ロシア語
科目設置学部・研究科	IBS
履修期間	9月～12月
単位数	7
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に90分が7回
担当教授	Nadezhda
授業内容	ロシア語を基礎から学ぶ。
試験・課題など	中間試験と最終試験がある。
感想を自由記入	語学の授業なので、明治大学の語学の授業と大差はない。事前に日本で学習しておく、大学に到着してからレベルの変更ができるため、ロシア語能力を高めてから留学することをお勧めする。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	留学を希望するようになる TOEFL などの資格試験を受験
8月～9月	語学の勉強
10月～12月	学内選考のためのエッセイ作成 学内選考
2015年 1月～3月	プレハーノフ経済大学への出願
4月～7月	入学許可証が届き、大使館へビザの申請 就職活動を並行して行う
8月～9月	留学のための荷物を準備 留学先大学に到着 オリエンテーションなど
10月～12月	授業と試験
2016年 1月～3月	帰国の準備と帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	自分の所属していた人類学のゼミで、海外でフィールドワークを行ったことがきっかけです。ゼミでの活動を通じて日本を離れて生活した時に、自分の捉えていた世界が断片的かつ小さいものだ意識するようになり、日本とは異なる学習環境、文化、人間に触れて、色々なことに対して許容できる範囲を広げたいと思ったからです。仕事や就職をするにあたり、海外の人がどのように考えているかを見聞きたいと思ったのも理由の一つになります。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学するにあたり、語学の準備は避けられないものだと思います。勉強で使用するのは当然のこととして、人間関係や日常生活でも欠かすことのできないものなので、語学力の向上により様々なことを吸収するための土台を作ることができると思います。ロシア語の準備は特に必要になると思います。もちろん英語を話せる人もいましたが、話すことのできないロシア人の方が多いので、基本的な文法や単語は学習しておく、生活での苦労が減ることになります。
この留学先を選んだ理由	アメリカなどと比べると日本人の数が少なく、ロシアの情報が少ないため、実際に現地での生活を通して、勉強してみたいと思ったことが理由です。ビザの関係もあり、簡単に旅行できる国ではなく、仕事をしている日本人の数も多くないので、今後自分の将来を考えると、ビジネスなどの可能性の幅を広げることができるのではないかと考えたことも理由です。観光業に興味があるので、夏場は観光地として有名なロシアで観光業がどのような形で行われているのか見てみたかったこともあります。
大学・学生の雰囲気	大学は複数の建物が密集して一つのキャンパスとなっています。エレベーターや学食などは学生数と比べると小さいものでした。寮の増築やキャンパスの改築が行われているので、今後は環境が良くなる可能性があります。学生の雰囲気としては、ビジネス系の学部が最近人気であるということもあり、勉強に励む学生が多い印象を受けました。大学では将来のことも考えて複数の語学を勉強している学生も多いので、英語で尋ねても答えてくれる学生が多いです。
寮の雰囲気	交換留学生在が2フロアに集められているので、異なる国から来ている人たちと毎日顔を会わせる環境になっており、語学の力をつける環境は整っていると思います。私の時は日本人は二人だけだったので、日本について聞かれることが多かったです。事前に日本の歴史や文化について簡単な範囲で調べておくと、話に困ることはないと思います。他のフロアは現地のロシア人や四年制で留学している人たちなので、交換留学生のフロアと比べると静かになっています。
交友関係	語学力の虚弱さという問題点を抱えていたため、苦労しました。上述のように寮では毎日他の国からの留学生と会うので、その接する機会を生かして、簡単な挨拶や世間話をしながら少しずつ仲を深めていくうち、旅行や週末のパーティーに誘われるようになりました。その他には、日本語を学びたい学生が何人かいたので、その学生たちと交流し簡単な言語交換をしていました。留学当初は友達も少なかったですが、後半にはより多くの人と関わることができました。
困ったこと、大変だったこと	大学の寮が共同部屋であったために、ストレスを感じる事が幾度となくありました。その時に部屋を変えてもらおうと思って相談しても、空き部屋がないということで移動することができませんでした。ルームメイトと話し合いを何度かしても変わることがなかったので、学習する場所を確保することが大変でした。一人でロシアの田舎に観光に行った時に、迷子になったこともありました。田舎の方では英語がほとんど通じません。もし一人で観光に行く時は、簡単なフレーズを準備しておくといいと思います。
学習内容・勉強について	私の所属していたIBSという学部では、交換留學生は学年関係なく自分の履修したい科目を履修することができました。履修を確定させる前にトライアルの期間があるので、そこで履修したい授業にお試しで出席することができます。日本との違いとしては、授業がレクチャーとゼミに分かれていて、前者では日本と同様に講義が行われ、ゼミでは質問や課題の発表などが行われます。大学の名前が経済大学となっている通り、授業内容はほとんど社会科学系の分野になっています。
課題・試験について	日本の授業とは異なり、発言を求められる機会が多くあります。課題は毎週課されますが、多くはありません。その分、自分のやりたいことに時間を割くことができます。ただし、グループワーク課題が多いため、日本のような課題とは少し異なると思います。グループワークではプレゼンテーションをすることが多いので、その点も日本とは異なる授業環境なので良い刺激を受けられると思います。試験は筆記試験です。日本とほとんど同じですが、一つの学期が二つのモジュールに分かれているので、年4回試験があります。

大学外の活動について	特に部活や交流サークルなどには所属していませんでしたが、現地の友達に、私が生活していた場所とは異なる地域の人を紹介してもらい、観光に付き合ってもらっていました。あとは、日本語を学習している現地の方たちと交流をして、そこからさらに輪を広げていました。ロシアでは日本人がそれほど多く生活しているわけではないので、日本人との交流を望んでいる人が一定数います。その方たちと交流し、ロシアについてや文化の違いについて教えてもらっていました。大学にはいくつか部活があり、所属することが可能なので、興味があれば交友関係を広げることができます。
留学を志す人へ	他人と比較して自分の留学は成功か失敗かを考えるのではなく、自分が将来どのような人間になりたいか、そのなりたい自分になるためには留学で何を学んで、どのようなことを克服するか、そのことを考えて留学してほしいと思います。問題や困難にぶつかった時に、その将来の自分像を意識して考え方や行動を選択するといいたいと思います。学習面では語学力が低いと学べるものも少なくなってしまうので、日本での事前学習は自分が思っている以上に行うことをお勧めします。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食
	授業	授業	授業準備		授業		
午後	授業	授業	授業	美術館など 観光	授業	美術館など 観光	自習
	授業	授業	授業	観光	自習	観光	自習
夕刻	授業	授業	自習	言語交流	自習	自習	自習
夜						言語交流	